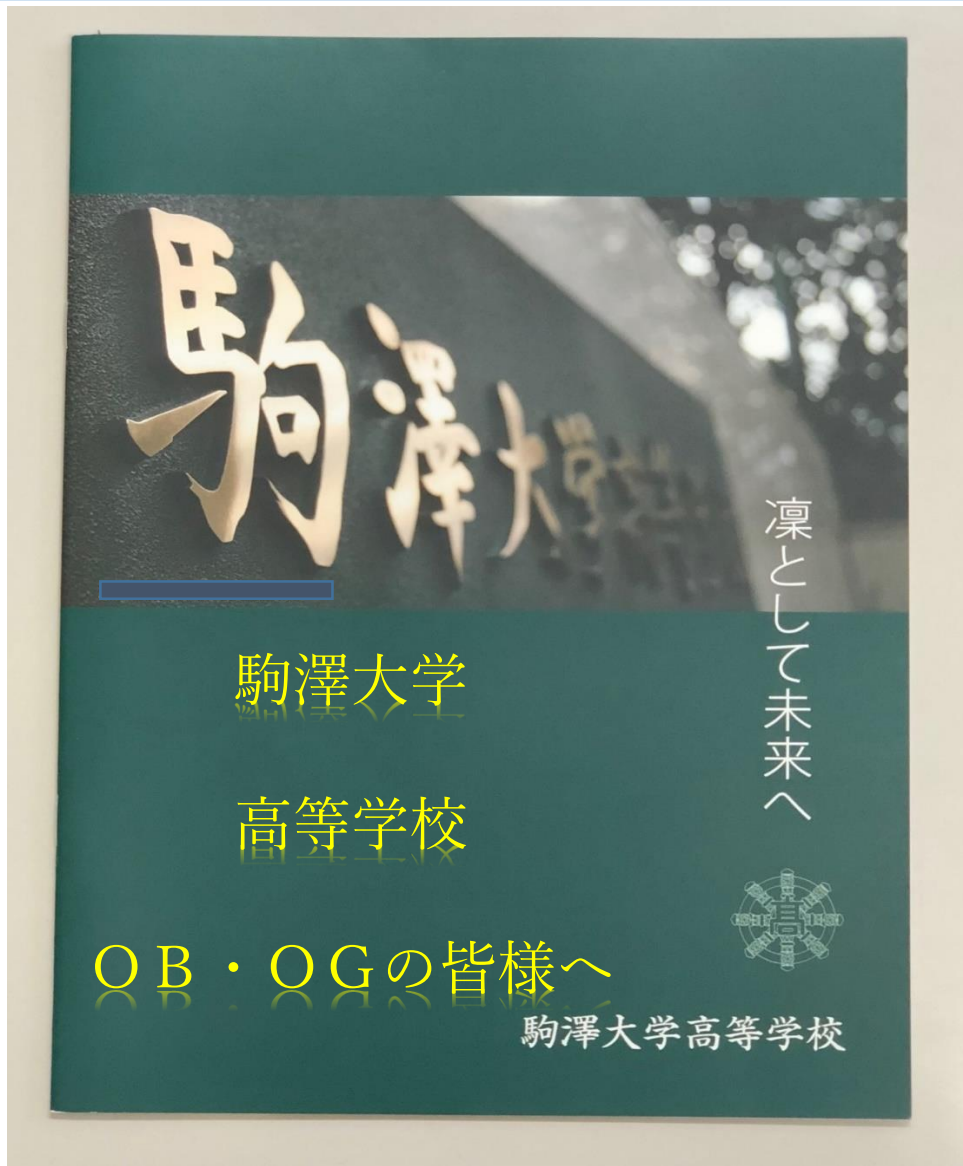


No.1
平成31年
3月吉日

同窓会だより

発行者：駒澤大学高等学校同窓会
〒158-8577 東京都世田谷区上用賀 1-17-12
TEL(03)3700-6131 FAX(03)3707-5689



式典の様子



駒澤大学高等学校を長きにわたって支えてこられた往年の先生方も出席いただきました。

理事長はじめ大学の執行理事の方々



吹奏楽部による「校歌」等をお願いしました。



国士館・駒沢女子・鶴見の学校長にも来校いただきました。

感謝！

70周年記念
駒澤大学高等学校

堂々とした生徒代表挨拶でした。



祝賀会の様子



また、司会か！

駒澤大学総長に挨拶を頂きました



日時：平成30年10月10日（水）
場所：二子玉川
エクセルホテル東急



70周年は通過点、これから80・90・100と向っていきます。



世田谷区長に挨拶を頂きました

世界チャンピオンも祝賀会に参加してくれました。



田中先生

馬場先生

井上先生

上脇先生

朝内先生

新羅先生

加藤先生

伊藤先生

深谷先生

池墻前事務長

貫井校長

鈴木前校長

二瓶先生

須賀先生

80周年・90周年も元気に参加してください。

駒澤大学高等学校OBから世界チャンピオン誕生

2009年度卒業 伊藤雅雪（之）

WBO スーパーフェザー級 チャンピオン



高校時代の伊藤選手
バスケットボール部に所属
このジャンプ力、運動神経はずば抜けていた！



2018年7月28日

伊藤 **日本人37年ぶり！**

米で世界王座奪取

無敗相手に大差判定

2018年12月30日

初防衛に成功



世界チャンピオン

伊藤選手から

「駒大高校生徒」へのコメント

『僕は駒澤高校の3年生になってからボクシングをはじめて世界チャンピオンになりました。何を始めるにも、遅いということはありません。可能性は無限にあるし、どんどん色んなチャレンジをしていってください！』

部活動の全国大会での活躍

駒澤大学高等学校 **全国制覇**

H30 年度 インターハイ **個人優勝**

競技種目 自転車 **ロードレース (40 KM)**

1 年 **渡部春雅**



photo:Satoru Kato

顧問草島先生

渡部春雅 活動報告

渡部は高校入学前、自転車競技のロード・レース、トライアスロン、トレイルマラソンでは同年代負けなしの日本一の選手でありながら駅伝でも神奈川県代表として都道府県駅伝の選手として選出された。全ての種目で活躍したい。その想いを叶える場所として駒大高校を選んだ。

ただ駒大高校には自転車競技部はないので、早朝は自転車の練習、放課後は陸上の練習、帰宅後水泳の練習、そこから宿題をやる生活。そんなハードな生活をしてながらも陸上の練習の時には笑顔で明るくやり切る。ハードな練習になるほど他の選手との差が広がる。

渡部は山岳ランニング16人のトップアスリートの特集をしている極限力という本の中で「すべてを楽しむ。そうすれば必ず結果もついてくる。試合にも勝てる」という言葉を使っている。普段の練習からこの様子が伝わってくる。

8月7日インターハイの種目として、初めて正式種目となった女子個人ロード・レース決勝で1年生の渡部が2位に差をつけて優勝した。

それ以外にも「全日本自転車競技選手権タイムトライアルU-17」「全日本自転車競技選手権ロード・レースU-17」「全日本自転車競技選手権マウンテンバイクユース」「JOCジュニアオリンピックカップマウンテンバイクU-18」すべてで優勝。

それ以外にも自分で調べ、色々な種目の大会にエントリーし、良い結果を残している。

本人が今現在目指しているのは高校3年生次のアジア大会。その大会で活躍するために、今苦しいはずの練習を笑顔でやり切っている。

全国高校 サッカー選手権大会 4回目の出場

2019年度
高円宮杯 JFA U-18
サッカーリーグ東京
本校からは T1・T2・T3・T4に参加

駒澤大学高等学校サッカー部
園部 大介

第97回全国高校サッカー選手権大会においては、駒大高校OB、地域の方々、学校関係者含め本当に多くのご声援を頂きまして誠にありがとうございました。激戦の東京予選ではチームが一つになり勝ち進むことで進化を続け、選手達が成長する姿を目の当たりにしました。全国大会では先輩たちのベスト8を越える成果は出ませんでした。しかし、この経験は高校生にしか出来ない部活動の素晴らしさを感じさせられる瞬間でした。敗戦して悔しい気持ちと、仲間と全力でプレーし戦って涙し称えあう。普通の高校生では味わえないスポーツの素晴らしさがその空間にはありました。

今こうして全国大会の舞台に立ち続けることが出来るのも駒大高校を選んで入学してきた選手たちの努力と勝ちたいという気持ちが成果に繋がっています。これからも皆様の心を熱くし感動を与えられるような選手を育てていきたいと思えます。

今年も全国の強豪チームの負けないように進化を続け活動していきたいと思っておりますので応援よろしくお願いします。

写真はサッカーのホーム
ページをご覧ください。

陸上競技部 (全国大会初出場)

「都大路」夢叶う

『新しい夢に向かって』

2:08:19 駒大高

初優勝

2:08:58 東京実

2:09:34 拓大一

2:09:54 國學院久我山

2:11:31 早実

・

・

・

・

元顧問の故幸前先生、故馬場（元）先生も大喜びをしているはずです。



顧問渡邊先生談

2018年度は全国大会へのチャンスがある年だと思っていたので、掴み取ることができて本当に良かったです。私は2017年度から顧問としてチームを見させていただいていますが、入った時から生徒たちは強くなることに真っすぐで、可能性を感じました。2017年の東京都高校駅伝では13年振りの第2位となり、生徒たちは大きな自信を掴みました。そして、来年は優勝しようと決意を固め、この思いによってチームはさらに結束していきました。2018年も、結果がなかなか出ない時期、怪我人が多く出てしまう時期など、苦しい時間もたくさんありましたが、そこで諦めずに、日々前向きに努力を続けたことが、優勝への道を切り開いたと思っています。1人ではできなくても、みんなの力を合わせれば大きなことを成し遂げられる、ということを証明してくれた生徒たちを誇りに思います。

また、このチームは本当にたくさんの方々に応援していただき、支えられています。その感謝の気持ちを忘れず、今後は全国大会に出るだけでなく勝負できるチームを目指し、日々取り組んでいきます。



駒大高校卒業の新任教員紹介



保健体育科

吉岡隆朗

平成14年度卒

時代の変化が激しい昨今、その流れに乗り遅れることなく、そして70有余年かけて築いてきた駒大高校の良さを継承していきたい。卒業した生徒が社会で自分の良さを存分に発揮しながら活躍できるよう「知力・体力・精神力」の基礎を養っていく。在校生には学校生活の様々な事柄を、己が成長するための良き機会ととらえ過ごしてほしい。日頃の勉強や部活動に真摯に取り組み「文武両道」を実践できるよう指導していく。



国語科

草島文勝

平成18年度卒

今まで普通であったことが普通ではなくなるような世の中になっている。そのため学校にも変化が求められる時代である。そんな中で、多くの先輩方や後輩たちが「文武両道」を掲げ、築き上げてきた「駒大高校らしさ」がある。

駒大高校にしかない良さを忘れず、人間性を伸ばし続け、生徒の夢の実現をサポートできる活気溢れる学校・在校生や卒業生が胸を張って「駒大高校」の名前を言えるような学校にしていきたい。



保健体育科

島山和真

平成22年度卒

平成の時代が終わりを迎える中で、社会も大きく変化した今、求められる人間力とは「主体性」だと私は考える。駒大高校で禅の精神にふれ、新たな価値を創造するため、自分自身と向き合い、目標に向けて精一杯の努力をしてほしい。

人には必ず「長所」があると教わったことがあります。生徒一人ひとりの良い部分に気づき、引き出すような指導。生徒が共に高め合える環境を作り、時代の変化に負けない、「主体性」を育てていきたい。

同窓会では上記のように活躍している生徒に対して支援を行っており、会員の皆様にも年会費3,000円のご協力をお願いしております。ご協力頂ける会員の皆様は下記口座にお振込みください。よろしくお願い申し上げます。

<振込先口座>

三井住友銀行 桜新町支店 普通 6557133
駒澤大学高等学校同窓会会費用

～訃報～

平成30年度にご逝去された元教職員の先生方

謹んでご冥福をお祈りいたします

佐藤 正 先生

広谷 五郎 先生

有川 友弘 先生

伏谷 義知 先生